

神奈川県歴史教育者協議会

川崎支部 11 月例会

「徴用工問題」や「慰安婦像」など、日韓「対立」がメディアの話題となっています。こうした課題について、今あらためて歴史的な文脈のなかで捉え、考えていくことが大切になっているといえるでしょう。例会では、11月下旬のフィールドワークの事前学習も行います。ご多忙中とは思いますが、ぜひご参加下さい。

2019 年 11 月 16 日 (土) 15:00-17:30

法政大学第二中・高等学校 社会科準備室

(川崎市中原区木月大町 6-1 / 武蔵小杉駅から徒歩 10 分)

1. 日韓歴史教育交流シンポジウムの報告

～三・一運動の公開授業を中心に～ (永島梓さん)

10月13日(日)に韓国の蔚山で日韓の歴史教師によるシンポジウムが行われました。今回は日韓両国の教員が三・一運動の公開授業を行い、蔚山外国語高校の日本語専攻の生徒たちの活発な意見交換が見られました。その他、シンポジウムの全体の状況を、韓国の高校生たちの日本に対する思いや、韓国の教育の現状などを含めて報告する予定です。

2. 11/24 多磨全生園・ハンセン病資料館フィールドワークの事前学習 / NHK 探検バクモン「ハンセン病を知っていますか」(2015年放送) 視聴

11月24日(日)に神奈川県歴教協主催のフィールドワークが実施されます。例会では、その事前学習としてハンセン病とその歴史、現状などを映像で学びたいと思います。また、当日お話をうかがう山内きみ江さんの半生についてもふれる予定です。

3. 参加者から近況報告 / 『歴史地理教育』10月・11月号の感想交流など

連絡先 江連 ezure@hosei2.ed.jp